

新製品・新技術開発支援試験

平成15年度

岸 久雄・野々田稔郎・中山伸吾

県内産業の発展と振興に寄与するため、企業等が開発した新製品や技術の品質・性能評価にかかる試験に対して、当研究部で実施可能な試験を対象に支援試験を実施している。本年度実施分は以下の13件であった。

- ・含水率測定試験（JAS認定に伴う含水率計の検査・校正用）

3企業，2組合より 計7件（11種類×10体）

試験方法：携帯式含水率計で測定後、切り出した試験片の含水率を全乾法により算出

- ・曲げヤング係数測定試験

試験体：ヒノキ柱材（11体）

試験方法：実大強度試験機 4点荷重方式

- ・集成材曲げ強度試験

試験体：小断面集成材（スギ・ヒノキ）（20体）

試験方法：実大強度試験機 4点荷重方式

- ・集成材曲げ強度試験

試験体：中断面集成材（スギ）（4体）

試験方法：実大強度試験機 4点荷重方式

- ・横断防止柵強度試験

試験体：横断防止柵（6体）

試験方法：実大強度試験機 4点荷重方式

- ・集成材曲げ強度試験

試験体：中断面集成材（スギ・カラマツ）（16体）

試験方法：実大強度試験機 4点荷重方式

- ・遮音壁たわみ量試験

試験体：スギ集成材（16体）

試験方法：変位計 等分布荷重方式